

加東市連合PTA研修会が開催されました

6月20日、滝野文化会館で開催された加東市連合PTA研修会において、教育委員会から小中一貫教育についてご説明させていただきました。また、小中一貫教育の先進地である高松第一小学校・第一中学校から川上伸吾校長やPTAの関係者をお迎えして、小中一貫校の様子や地域の状況、教育内容について発表していただきました。

「小・中学校が分かれていないことは、学習だけでなく、生徒指導や特別支援などをを行ううえでも非常にスムーズで、効果が高い」「小学校区が広がることで、子どもたちを通じて地域間の交流も盛んになった」などの発表を聞いた参加者からは「小中一貫教育に対してのイメージがわき、方向性が見えてきた」との意見が聞かれました。

アンケート結果

- 参加者数 128人
- アンケート協力者数 98人(約76.6%)



○設問1
どの中学校区からお越しですか。
社中学校区から 50人 滝野中学校区から 25人
東条中学校区から 23人

○設問2
研修会を終えて、小中一貫教育への理解が深まりましたか。

	社地域	滝野地域	東条地域	計	割合
よく深まった	18	11	8	37	37.8%
少し深まった	28	13	14	55	56.1%
あまり深まらなかった	3	1	0	4	4.1%
全く深まらなかった	0	0	1	1	1.0%
無回答	1	0	0	1	1.0%
合計	50	25	23	98	100.0%



研修会終了後に行われたアンケートの結果等を連合PTAから提供いただきましたので、このたびは、アンケート結果と寄せられた主な意見をご紹介します。

寄せられたご意見(主なもの)



- 具体的な学校活動が見え、前向きになりました。子どもたちはよい経験ができるのではないかと思います。
- 子どもの人数が増え、日々、新しい人との関わりが生まれることは大切だと思いました。
- 大変なこともあるかもしれませんが、小中一貫はメリットも大きいので、楽しみです。
- バス通学がある学校なども含めて、事例はもっと多く聞いてみたいです。
- 様々な分野の人が集まり、長い期間議論した高松と加東では違う部分も多いと思います。
- 地理的条件がそろっていった高松は小中一貫教育の成功例だと思いますが、加東市に当てはまるかどうかは疑問が残ります。
- デメリットについても、もっと聞いてみたいです。

加東市教育委員会では、保護者や地域のみなさんからの意見を取り入れながら小中一貫教育への課題を解決していくために、小中一貫教育研究会を設置いたします。保護者や地域のみなさんの不安や疑問を解決できるように、小中一貫教育研究会で、今後とも議論を重ねてまいります。

北はりま消防職員 採用試験

採用予定人員 消防職(2人)
受験資格
○平成3年4月2日以降に出生し、高等学校以上を卒業または平成28年3月までに卒業見込みの方
○視力が両眼ともに10以上(矯正視力を含む)かつ、色覚、聴力、言語、運動機能等において、業務に支障がないこと

応募期間
8月3日(月)～8月14日(金)
第1次試験日 9月20日(日)
(筆記試験・体力検定)

試験会場
北はりま消防組合
西脇消防署
西脇市野村町1796番地502

問い合わせ
北はりま消防本部総務課
(旧滝野庁舎2階)
下滝野1269番地2
☎48・3115
ホームページ
http://www.kitaharimal19.net/

なぜなに？加東

このコーナーは、市の制度や仕組み、またみなさまの疑問をできるだけわかりやすく解説するコーナーです。

今回の疑問 『地方創生』について



わたしがお答えします！
地域創造部
まち未来課 川居弘和

『地方創生』ってよく聞けど、何のことなの？

今、地方創生という言葉は、新聞やニュース番組で連日のように取り上げられています。地方創生とは「日本の人口減少に歯止めをかけよう！」という取り組みの総称です。

現在の日本は、東京圏などの大都市に人口が集中しすぎています。このままでは、少子化と高齢化が進んでいる地方の人口は減少の一途をたどります。大都市においても、居住スペースが狭い、保育所等が少ないなどの理由で出生率が伸びていないため、日本全体の人口減少は加速して

います。そこで、地方における大都市への人口流出を抑え、それぞれの地域で住みよい環境を確保することで、人口減少を克服することが法に定められ、国を挙げて取り組みでいくことが決まりました。

地方に移住してもらうには、まず、魅力にあふれるまちであることが必要です。加えて、暮らしていくには、その地方で働けることも欠かせません。

これらのことから、地方創生を進めることは「たくさんの方に住んでもらえるよう、まちの魅力を引き出し、就業機会のさらなる充実を目指す」こととなります。つまり、地方創生は「よりよいまちにしていくこと」だとも言えます。



加東市にも関係があることなの？

公共施設適正配置計画(案)などでもお示ししたとおり、加東市でも、2040年には約5,000人の人口減少が予測されています。加東市も率先して地方創生に取り組み、人口減少への対策を採らなければなりません。



具体的には、どんなことをしていくの？

加東市では、現在ふたつの計画を策定中です。ひとつは『加東市人口ビジョン』です。これは、2040年までの人口の推移を示しつつ、加東市の目標とする人口を定めるものです。もうひとつは『加東市版総合戦略』です。これは、『加



東市人口ビジョン』で定めた目標を実現するために、具体的にどのような事業を展開するかを定めるものです。これらの計画の素案のご提示は12月を予定しております。それまでに、できるだけ多くの方から、まちをよくするためのアイデアをいただきたく考えております。(下記参照)

ぜひ、ご協力ください。

問い合わせ
地域創造部まち未来課
(庁舎3階)
☎43・0507

地方創生に関するアイデアを募集します

加東市の「地方創生」にみなさまのご意見を取り入れるため、事業内容などのアイデアを募集します。加東市の未来のために、あなたの意見をお待ちしております。

募集テーマ

- ①地域における安定した雇用を創出する
- ②地域への新しいひとの流れをつくる
- ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

応募資格 どなたでも応募できます。
応募方法 提案書に必要事項を記入のうえ、郵送または電子メールで応募ください。提案書はまち未来課窓口にあります。
応募締切 9月18日(金)
応募・問い合わせ
地域創造部まち未来課 〒673-1493 加東市社50番地
☎43-0529 電子メール mirai@city.kato.lg.jp